

第33回全国大学弓道選抜大会

予選詳細都学4月1日改定 ver

以下は東京都学生弓道連盟で行う全国大学弓道選抜大会予選の詳細になります。必ず全日本学生弓道連盟が公開している選手必携や要項をご確認の上、参照ください。

4月1日改定分

- ・同中競射分の競技方法を、(1+1+1+1)から、(2+1+1)に変更しました。最初に一手まとめて引くことになります。
- ・立ち順登録の時間を、前日夜から、当日朝競技開始30分前に変更しました。
- ・各大学の選手登録人数を、男子はチーム8人、女子はチーム5人までとし、従来より一名多くしました。
- ・行射の制限時間を決めました。

日時：5月1日(土) 男子
5月2日(日) 女子

9:30 会場準備開始(以後の付け矢は禁止となります。)
10:00 競技開始

会場：オンライン(各大学)

競技方法：男子

5人立ち 予選4射+同中競射分(2+1+1)

女子

3人立ち 予選4射+同中競射分(2+1+1)

※初回の4射の的中をもとに全国上位16大学が決勝トーナメント進出となります。

決勝進出同中競射が発生した場合、同中競射分の中を参照します。

(四矢の記録、競射分一手、3回目的一本、4回目的一本の順に的中を加味し、順位を決定する)

選手登録：4月1日(木)～4月25日(日) 23:59

全日本学生弓道連盟ホームページより登録してください。

男子の部はチーム8人まで、女子の部はチーム5人までとなります。

立順登録：競技開始30分前までに所定の google フォームで登録してください。

制限時間：男子9分30秒、女子7分

選手交代：所定の google フォームを用いて選手交代を登録してください。

以下の赤い→が選手交代可能なタイミングとなります。

当日朝立ち順登録→予選4射→競射分一手→1本一回目→1本二回目

その他補足

- ・弓具・服装点検は実施しない。
- ・体配、取り矢については各大学の方法に従う。

オンラインマニュアル

試合形式

○競技：A大学、B大学 立合い C大学

A、B大学の用意する端末

- ① 射場を撮影するもの（ZOOM 接続）
- ② 的場を撮影するもの（ZOOM 接続）

※上記のどちらかの端末から一本ごとの○×を声で立ち合いに伝えること。

- ③相手校的的中を立ち合い（C大学）と共に確認するもの

C大学の用意する端末（立合いは2人）

- ① A大学を確認する用
- ② B大学を確認する用

○試合進行（男女共通）

A/B大学 予選4射 → 同中競射分4射

同時に立が行われ、確認のタイミングや的中報告がかぶるため、部屋は2つ必要となります。

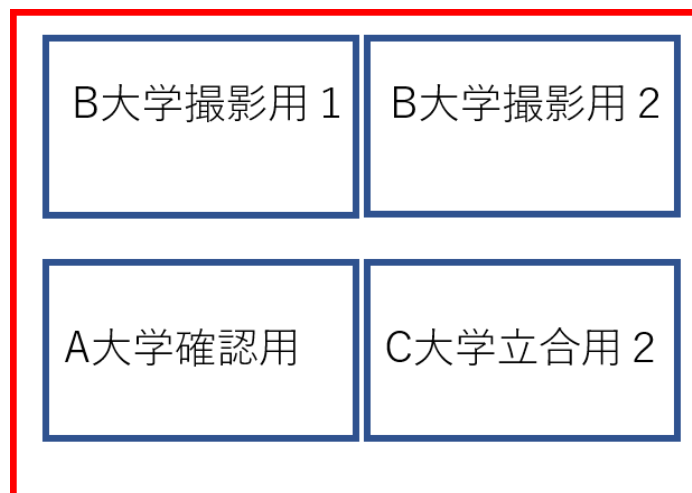
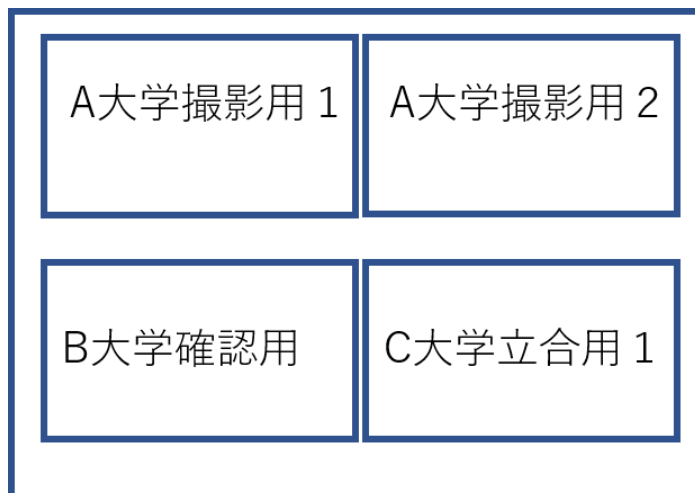
Zoom のブレイクアウト機能を使うと便利であるため推奨します。

- ① A大学的的中確認用

A 大学デバイス①/②・B 大学デバイス③・C 大学（立合い）

② B 大学的中確認用

B 大学デバイス①/②・A 大学デバイス③・C 大学（立合い）



※競技を行う大学の二校ではなく立ち合いも含めた三校で行うことは競技の公平性、信頼性を高めるためですのでお手を煩わせてしまいますが何卒宜しくお願い致します。

※zoom に限らず line 通話などよりスムーズに試合が行えるツールがあればそちらをご使用いただいで構いません。

タイムスケジュール

9 : 3 0 以降の付け矢禁止

Zoom に接続

9 : 5 5 選手、立ち順の確認

1 0 : 0 0 予選開始

以降競射分 4 射も行い、終了

確認の仕方やカメラの角度は都学連 YouTube にアップロードされている動画「リーグ戦代替大会オンラインマニュアル」を参照してください。

試合中

各立ちの確認が終わるたびに記録用紙を画面に見せる、写真に撮って line グループに投稿するなどの方法で必ず的中を照合してください。

以下に各デバイスの試合中の動きを示します。

デバイス①（射場）

主審の試合開始宣言を受け次第、試合の様子を映す。

全ての的を終始映したまま、可能な限り引いている選手の様子を映す。

撮影者が中った際は「○」抜いた際は「×」とその場で一本一本申告する。

（微妙な矢は「後で確認します」「保留をお願いします」）

↓

確認中、安土での的の中を操作していないことを担保するため、全ての的を映したままにしてお

く

↓

繰り返し

デバイス②（的場）

看的からの的を映す。

撮影者が中った際は「○」抜いた際は「×」とその場で一本一本申告する。

（微妙な矢は「後で確認します」「保留をお願いします」）

確認の際、デバイスを持って安土に出て、一的ごとに的中の確認をする。

- ・立合い対戦校による的中の確認が済むまで次の的に移動しないこと。
- ・全ての的的中が確認されるまで、決して矢には触れないこと。

確認が終わったら矢を取り、次の回の前の的の確認を行う。

デバイス③（対戦校的中確認用）

相手校の様子を監視し、申告される「○」「×」を記録しておく。

各立ごとに立合いとともに的中を確認し、問題無ければその旨を伝え、次の立へ進む。

立合組み合わせ一覧

男子競技校		立ち合い校
日本	法政	明治
明治	桜美林	慶應義塾
慶應義塾	早稲田	中央
中央	日本体育	東洋
東洋	帝京	國學院
國學院	東京工業	早稲田
女子競技校		立ち合い校
日本	法政	桜美林
桜美林	明治	早稲田
早稲田	慶應義塾	中央
中央	専修	日本体育
日本体育	日本女子体育	明治